



リブマーリ®内用液を
服用される患者さんとそのご家族の方へ

調製・投与方法ガイドブック

リブマーリ®内用液を 服用される患者さんとそのご家族の方へ

このガイドブックは、リブマーリ®内用液を服用される患者さんもしくはそのご家族の方に、このおくすりを適切にご使用いただくための手順や注意点などを解説しています。

わからないことや不安なことがありましたら、主治医・看護師又は薬剤師にご相談ください。



リブマーリ®内用液を服用する前に ご確認ください

-  以前にリブマーリ®内用液を飲んでかゆみや発疹などのアレルギー症状が出たことがある方は服用できません

心当たりのある方は必ず医師に相談してください



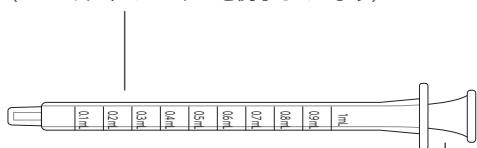
投与に必要なもの

プラスチックキャップ
(安全キャップ)

ボトル
(プラスチック製)



ディスペンサー本体
(1mLのディスペンサーを例示しています)



プランジャー
(おくすりを押し出すための部品)

リブマーリ®内用液

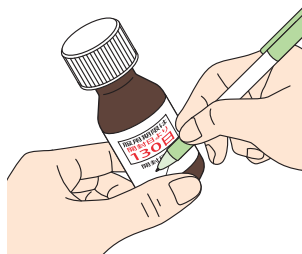
リブマーリ®専用 経口投与用ディスペンサー

- リブマーリ®内用液ボトルには1瓶につきおくすりが30mL入っています
- リブマーリ®内用液のボトルはお子様の誤飲防止のため、お子様には開けにくい構造の安全キャップを用いています
- 指示された投与量に応じて、医療機関から提供・指示された適切な大きさのディスペンサーをご使用ください。サイズは0.5mL・1mL・3mLの3種類があります

保管上の注意など

- 1 おくすりを服用する前に必ず、ボトルに貼られているラベルに記載された開封日を確認してください。

主治医・看護師又は薬剤師からラベルに開封日を記載するよう指示された場合は、患者さんご自身あるいは保護者の方がご記載ください。



- 2 ボトルに貼られているラベルに記載された開封日から130日を過ぎたおくすりは服用せず、廃棄してください。廃棄の際は住まいの各自治体のルールに従ってください。



- 3 おくすりはお子様の手の届かない、室温（1～30℃）の場所でボトルを立てて保管してください。



投与前の注意点

主治医から指示された用法及び用量に従ってください。

- 1 乳幼児など小さいお子様が服用する場合は必ず保護者の方が投与してください。



- 2 投与量を正確に量るために、必ず医療機関から提供されたリブマリー®専用の経口投与用ディスペンサーを使用してください(参照:p.3「投与に必要なもの」)。
提供されたディスペンサー以外の器具では投与量を量らないでください。



経口投与用
(1回投与量に応じて提供されるもの)

リブマリー®専用ディスペンサー

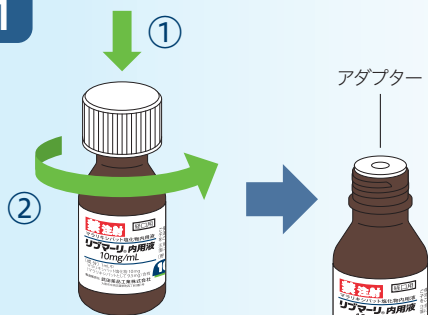
- 3 医療機関から提供されたリブマーリ[®]専用のディスペンサーをこのおくすりの投与以外の用途では使用しないでください。



投与手順

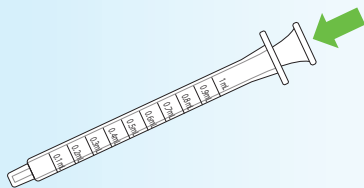
※このガイドブックではおくすりを分かりやすくするため(見やすくするため)、おくすりの色を黄色で示していますが、実際のおくすりは無色澄明又はごく薄い黄色の液体です。

1



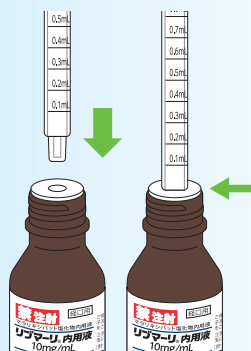
お子様には開けにくい構造の安全キャップを用いているため、ボトルのキャップを開ける際には、テーブルなどの平らな所にボトルを置き、キャップを下向きに押し込みながら反時計回りに回して外します。

2



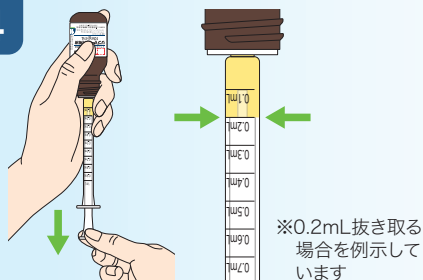
プランジャーが止まるまで押し下げて、経口投与用ディスペンサーの中の空気を出してください。

3



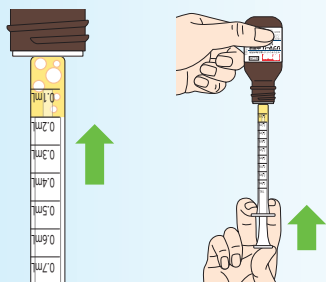
経口投与用ディスペンサーの先端をボトルのアダプターの奥まで、ぴったりとはめ込んでください。

4



経口投与用ディスペンサーが抜けないように、ボトルと経口投与用ディスペンサーをしっかりと握りながら静かに逆さまにします。プランジャーをゆっくり引いて、指示された投与量までおくすりを抜き取ってください。

5

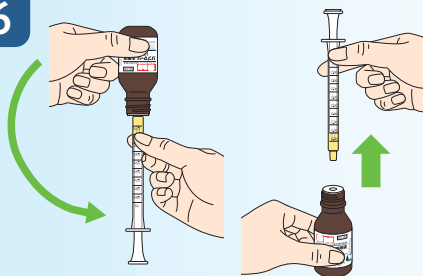


抜き取ったおくすりの中に気泡がある場合は、プランジャーをゆっくり押して気泡をボトルに押し戻し、指示された投与量を再度抜き取ってください。



このとき、ディスペンサーをボトルから抜かないよう注意してください。おくすりがこぼれるおそれがあります。

6

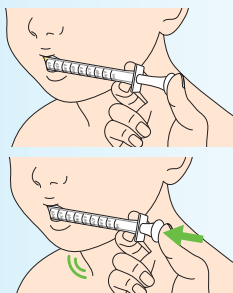


経口投与用ディスペンサーをはめたままボトルをひっくり返して図のように元の位置に戻し、片手でボトルを押さえ、もう片方の手で経口投与用ディスペンサーを持ってゆっくり取り外してください。



このとき、プランジャーに触れないよう注意してください。

7



経口投与用ディスペンサーの先端を頬の内側に挿入し、患者さんが飲み込みやすいようプランジャーが止まるまでゆっくりと押し下げて、おくすりを口の中に投与してください。



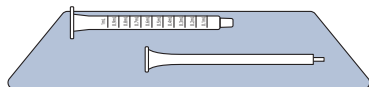
他の容器に移したり、他の飲料と混ぜて投与しないでください。

投与後の注意点

- 1 投与後は、キャップをボトルに取り付け、下向きに押し込みながら時計回りに回してしっかりと閉めて保管してください。



- 2 使用後の経口投与用ディスペンサーは水洗いのうえ、自然乾燥させて保管し、再度使用してください(洗剤や石けんで洗わないでください)。



- 3 ボトルに貼られているラベルに記載された開封日から130日を過ぎたおくすりは服用せず、廃棄してください。廃棄の際はお住まいの各自治体のルールに従ってください。



- 4 ディスペンサーは医療機関でおくすりの処方と合わせて新しく提供されるごとに、交換して使用してください。



注意が必要な副作用

下痢



腹痛



主に下痢やそれに伴う脱水、及び腹痛といった、消化器系の副作用があらわれることがあります。

服用中に体調に異常がみられた場合は、服用を中止し、次回の診察を待たずに主治医・看護師又は薬剤師へご相談ください

また、症状が改善しても、主治医の指示がない限り、ご自身の判断でおくすりを減量したり、服用を中止したりしないでください

よくあるQ&A

Q1

子どもがリブマリー®内用液を吐き出してしまったらどうすればよいですか

A

おくすりを吐き出した際、全量を吐き出したかどうか分からない場合は、それ以上投与は行わず、次回の投与時間まで待ってください。

Q2

リブマリー®内用液の服用を嫌がるので、ほかの食べ物や飲み物と混ぜて投与したいのですが

A

指定された投与量を正確に服用いただくために、経口投与用ディスペンサーからほかの容器に移したり、ほかの飲食物と混ぜて投与しないでください。

Q3

リブマリー®内用液を飲み忘れた場合はどうすればよいですか

A

【1日1回投与の場合】

服用を忘れた場合は、通常の服用時刻から12時間以内であれば、可能な限り速やかに服用し、その後は元の服用スケジュールで服用を再開してください。

服用から12時間を超えた場合は服用せず、翌日から元の服用スケジュールで服用を再開してください。

【1日2回投与の場合】

服用を忘れた場合は、通常の服用時刻から6時間以内であれば、可能な限り速やかに服用し、その後は元の服用スケジュールで服用を再開してください。

服用から6時間を超えた場合は服用せず、翌日から元の服用スケジュールで服用を再開してください。

Q4

リブマーリ®内用液を多く飲みすぎた場合はどうすればよいですか

A

すぐに主治医に連絡し、指示をあおいでください。

Q5

おくすりが目に入ったらどうすればよいですか

A

すぐに流水で洗い流し、主治医に相談してください。また、おくすりが口の周りや手などについたらすぐに水で洗ってください。

Q6

リブマーリ®内用液の服用はいつまで続ければよいのでしょうか

A

主治医が指示する投与期間を守って服用を続けてください。

Q7

ほかのおくすりと一緒に飲んでも大丈夫ですか

A

リブマーリ®内用液以外に飲んでいるおくすり(ドラッグストアで購入したものも含みます)があれば、それらすべてを主治医、看護師又は薬剤師に伝えて、リブマーリ®内用液と一緒に飲んで良いかを必ずご相談ください。

ご自身の判断でほかのおくすりとは一緒に服用しないでください。

Q8

将来、リブマーリ®内用液を服用しながら妊娠・出産はできますか

A

妊娠・出産を希望される場合は主治医に相談してください。

冊子・ウェブサイトのご紹介

アラジール症候群(ALGS)・進行性家族性肝内胆汁うっ滞症(PFIC)の病気の解説や治療をサポートするための冊子です。ご興味のある方は、主治医・看護師又は薬剤師へお問い合わせください。

●アラジール症候群ってどんな病気？



●進行性家族性肝内胆汁うっ滞症(PFIC)ってどんな病気？



●リブマリー®内用液を服用される患者さんへ



●治療日誌



● アラジール症候群・PFIC情報サイト
「アラジスとピーフィのひろば-アラジール症候群・PFICサポートナビ-」



アラジール症候群・PFICと診断された患者さんとそのご家族のために、病気や治療、日々の生活についての情報を共有し、支えあう情報サイトです。

URL <https://www.takeda.co.jp/patients/alagille-pfic/>





医療機関名



武田薬品工業株式会社